



忘年山行 古賀志山

全班 山頂に集う



上: 2022/12/4 古賀志山頂上に集合

左: 古賀志山

1月の定例会は

1月10日(火) 19:00~

我孫子北近隣センター並木本館

(スリッパ持参)

定例山行計画

ご案内



定例山行計画（県連主催）			リーダー：小島洋子
第 37 回 房総ロングハイキング			グレード：1A
月 日	2023 年 1 月 28 日（土）日帰り		
山 域	東金	地形図	1/25000
目 的	陽だまり山行		
費 用	3,000 円	交通機関	電車
行 程	我孫子 6:17→新松戸 6:31/41→南船橋 7:06/10→蘇我 7:27/42→東金 8:09 東金 8:20⇒八鶴湖⇒日吉神社⇒雄蛇ヶ池⇒小西正法寺⇒越谷⇒大網駅 →千葉→西船→新松戸→我孫子 < 歩行時間 4 時間 >		
個人装備	コロナ対策グッズ・雨具		
メモ	・首都圏自然歩道 千葉県 8（東金駅～土気駅） ・日吉神社を通り越してコンビニがあり、昼食の購入が出来ます。 ・街歩きの為、運動靴のほうが良い。		

定例山行計画		乳頭山～仙元山 (211m～118m)		リーダー:大平/鈴木 グレード:1A	
月 日	令和5年2月11日(土) 日帰り				
山 域	三浦半島	地形図		1/25000 横須賀・鎌倉	
目 的	令和4年度新人卒業山行 山中でテント設営と自炊研修				
費 用	約4,000円 (休日おでかけパス使用)		交通機関	JR・京浜急行バス	
行 程	我孫子駅 5:31→ 上野駅 6:04／6:17 → 大船駅 7:06／7:25 → 田浦駅 7:47 ⇒ 乳頭山 ⇒ 観音塚 ⇒ 仙元山 ⇒ 葉山教会登山口 ⇒ 風早橋バス停 →逗子駅 ＜歩行時間 4時間 17分 距離 8.4km 上り 662m 下り 658m＞				
個人装備	日帰り装備一式				
メ モ	・集合は上野駅8番ホーム/参加は新人のみ ・天気がよければ仙元山からは相模湾江の島越しに富士山が望めます。 ・荒天時は翌日に順延。前日午前中に連絡します。				

準定例山行計画		四 阿 山 (2,354m)		リーダー：細谷 グレード：2 C	
月 日		2023年2月11日(土)～12日(日) テント泊 1泊			
山 域		菅平	地形図（又は日の出日の入り）	1/25000 四阿山 (日の出6時30分 日の入り17時31分)	
目 的		雪山に泊まる（現地調査）			
費 用		約 10,000 円	交通機関	レンタカー	
行 程	1日	我孫子 6:00→旧あずまや高原ホテル駐車場 10:00/10:30⇒テント泊適地 13:00 テント設営宿泊 ＜歩行時間 3 時間＞			
	2日目	宿泊地 6:00⇒四阿山・根子岳分岐 8:00⇒四阿山 8:40/8:50⇒四阿山・根子岳分岐 9:10⇒宿泊地 10:40 テント撤収 12:00⇒旧あずまや高原ホテル駐車場 13:30/14:00→我孫子 18:00 ＜歩行時間 4 時間＞			
個人装備		雪山テント泊装備一式・アイゼン（10本爪以上）・ワカンorスノーシュー・厳冬期用シュラフ・厳冬期用マット・冬用ストック・サングラスor ゴーグル・帽子・目出帽・防寒手袋（予備）・着替え・防寒着・他）・雪山3点セット（スコップ・プローブ・ビーコン（持っている方））			
共同装備		テント			
メ モ		・雪山未経験の方は参加できません。 ・テント泊適地にて宿泊します。 -10℃程度でも寝られる装備を持参してください。 ・運転が可能な方はご協力をお願いいたします。 ・天候が悪い場合、日程変更を行います。			

定例山行計画		長瀬アルプス 宝 登 山		L:本田(企:飯塚)	
		(497m)		G:1A	
月 日	令和5年2月18日(土) 日帰り				
山 域	上毛三山	地形図 (又は日の出日の入り)	1/25000		
目 的	蠟梅を見る				
費 用	約4,300円	交通機関	J Rおよび秩父鉄道		
行 程	我孫子 5:42 (常磐線快速) → 上野 6:15/6:26 (高崎線) → 熊谷 7:32/7:45 → (秩父鉄道) 野上駅 8:29/8:50 → 野上峠 10:20 → 宝登山 11:20/12:00 → 宝登山神社 13:00 → 長瀬駅 13:20/14:24 → 熊谷 → 我孫子 17:26				
	＜歩行時間 3 時間 40 分＞				
個人装備	日帰り装備一式、				
メ モ	トイレは野上駅と登山口手前に観光トイレがあります。 雨天の場合翌週に実行するか考えます。 前日 12 時までにメールで連絡します。 *天候により軽アイゼンが必要				

定例山行計画（仮）		三岩岳 (2065m)		リーダー：白崎 グレード：2C	
月 日	2023 年 3 月 11 日(土)～12 日(日) テント 1 泊				
山 域	南会津	地形図	ルートを記載した地形図を配布		
目 的	南会津の雪山での雪洞（スノーマウント若しくはイグルー）泊の実践				
費 用	約 8000 円	交通機関	マイカー		
装 備	雪山テント泊装備				
行 程	【初日 3/11】 我孫子 4:30 → 三岩岳登山口駐車場 9:30 / 9:40 ⇒ 1308m ピーク 13:00 （雪洞掘り・食事準備） （歩行時間 4 時間+）				
	【2 日目 3/12】 1308m ピーク 7:30 ⇒ 三岩岳避難小屋 9:30 ⇒ 三岩岳 10:30/10:40 ⇒ 1308m ピーク 12:30 13:00 ⇒ 三岩岳登山口駐車場 14:30/15:00 → 小豆温泉 窓明の湯 15:10/16:00 → 我孫子 21:30 （歩行時間 6 時間）				
メモ	● 南会津の雪山をスノーシューで歩き回りたいと思います。 ● できれば、雪洞・スノーマウントもしくはイグルーをつくってそこで泊まります（そのためには少なくとも 13 時には作業を開始する必要がある、1308m ピークをキャンプ地としています）。 ● 宿泊予定地の標高はそれほど高くないので、最低気温はマイナス 10 度程度かと予想されます。雪上にテントを張るよりも、雪洞のほうが暖かく過ごせます（一応、最低限のサイズのテントも持っています）。 ● 冷気は下からきますので、マットは断熱性のあるタイプものを利用すると安心です。シュラフカバーは必携。 ● 山行当日の時点で新雪が 40cm 以上積もっていると、スノーシューでの行動が著しく制限されますので、山行を延期するか中止するかします。 ● 現地の雪の状態によっても、歩きやすさやリスクが変わりますので、場合によってはルートの短縮もあり得ます。 ● 必要装備及び雪洞づくり等の資料は、改めてご案内します。 ● 三岩岳登山口駐車場は、積雪が多いと利用できない可能性があり、現在駐車スペースについて問い合わせ中です。				

定例山行報告

定例山行報告		笹尾根	L：本田 G：2A	
(数馬峠 1,105m～笛吹峠 999m～丸山 1,098m～土俵岳 1,005m～浅間峠 861m)				
月 日	2022 年 11 月 26 日 (土)	日帰り	東京都	日の出 6:26 日の入 16:45
山 域	奥多摩		地形図	三頭山 (1/2,5 万)
目 的	晩秋の奥多摩を歩く		研修課題	山行の時間配分・休憩の摂り方
費 用	約¥5,000- (休日お出かけパス)		交通機関	J R ・バス
行 程	我孫子 5:31(常磐線)→日暮里 6:01→新宿 6:33/46→ (ホリデー快速あきかわ 1 号) →武蔵五日市 7:55/8:10(バス都民の森行)→数馬バス停 9:00→登山口 9:20/25→ 数馬峠 11:05⇒笹タワノ峰⇒ (昼食・写真) 11:40/12:00⇒笛吹峠⇒丸山 12:25/30⇒ 土俵岳 13:40⇒日原峠 13:55⇒浅間峠 15:00/05⇒下山 16:05⇒上川乗バス停 16:15/16:22 →(バス)→武蔵五日市駅 16:50/17:21→ (ホリデー快速東京行) →神田→上野→ 我孫子 19:27 歩行時間 6 時間 7 分 行動時間 7 時間 5 分			
ルート 状況	・ 数馬バス停下車、1 つ前の仲の平バス停脇に登山口がある (狭い通路から入って行く) ・ 快速が停車するバス停にトイレが設置してあり、便座も暖かくて綺麗で気持ち良い。 ・ 登山道はサクサクと落ち葉を踏みしめて歩けたので足の衝撃がなく快適だった。 ・ 紅葉は終わりにかけていたが、1,000m 以下からモミジなどの紅葉が見られた。 ・ 尾根道は小さなアップダウンを 10 回繰り返した。 ・ バスの便が少ないため (1 時間に 1 本位)、時間配分が必要になる			
参加者	本田 (C L・やまなみ) 矢野貞 (L) 北田(L) 斎田 (S L) 森岡 (S L) 外崎 矢野裕 (写真) 石塚 (点呼) 佐藤健 (点呼) 一氏 (会計) 小山 (写真) 大賀 (記録) 小林健 (旗)			
メ モ	* 研修課題 (山行中の時間配分と休憩の摂り方) ① 登山開始前の準備 (トイレ、靴紐、行動食など) がスムーズに出来た。 ② 開始 30 分程で衣服調整、急登 40 分ほどで休憩 5 分 (水分補給など) 立ち休憩 ③ 先頭は遅い人の歩行ペースを乱さず調整して、最後まで完歩することができた。 * 前日の天気予報 (東京の降水率 60% 台、奥多摩の降雨量 20% 昼前後) だった。判断に迷ったため班リーダーの北田さんと矢野さんに相談して危険個所もなく少量の雨の中を歩こうと決行することにした。バスを降りると予報より早く降りだしてきた登山口で雨具を着て開始 暫くすると小降りになり、止んで曇天の中を歩いた。枯葉のじゅうたんの広場でご飯タイムでは日差しが差してきた。 * 尾根歩き中、遠くの景色、山々 (微かに雪化粧の富士山) を見ながら足に優しい落ち葉を踏みながら晩秋の気分を味わった。 * 先頭を歩いた矢野さんが完璧な時間配分を摂ってくれたので全員が 12,2 km を完歩して、予定の時間に下山できた。 * 雨予報で交通機関も空いていて、登山者に殆ど合わず静かな尾根道を歩けた。			



笹尾根から遠望



最後の紅葉



笛吹峠の広場で



枯葉の広場で



晩秋の笹尾根



静かな尾根道を黙々と歩く

行事山行報告		古賀志山 (583m)		リーダー：蟹江・佐藤清 グレード：1A / 1B	
月 日	2022年12月 4日（日） 日帰り				
山 域	前日光	地形図	1/25000 大谷		
目 的	忘年山行				
費 用	5000 円～8600 円（全国旅行支援利用）		交通機関	大型貸切バス 2 台	
行 程	我孫子駅北口公園前 5:47 → 柏 IC → 羽生 P 6:55～7:10 → 鹿沼 IC → 宇都宮市森林公園駐車場着 8:15 ①北コース（A・B班） 駐車場 8:30 → 北登山道入口 8:45 → 水場 8:55 → 富士見峠 9:45 → 東稜見晴台 10:05 → 古賀志山 10:05～25 → 分岐 10:30 → 南登山道入口 11:00 （A 班のみ） → 管理センター 12:00 → 駐車場 12:05 ②南コース（C・D班） 駐車場 8:25 → 赤川ダム展望台 8:37 → 南登山道入口 9:23 → 南陵下 9:30 → 古賀志山 10:10～25 → 東稜展望台 10:35 → 富士見峠 10:55 → 水場 11:30 → 北登山道入口 11:45 → 駐車場 12:00 ③東稜コース 駐車場 8:24 → 北コース入口 8:35 → 東陵コース分岐 8:45 → 東陵 8:51 → 東南稜分岐 9:00 → 東南稜 9:10 → 東陵見晴台 9:55 → 古賀志山 10:00～15 → 御岳 10:20～35 → 南コース分岐 10:50 → 林道合流 11:20 → 赤川ダム 12:00 → 駐車場 12:10 駐車場 12:20 → ニューサンピア栃木 12:30～14:20（入浴・会食・買い物） → 鹿沼 IC → 羽生 P 15:17～32 → 柏 IC → 我孫子駅北口 16:45				
ルート 状況	○踏み跡はたくさんあるが、道標がきちんと整備されており、迷うことはない。 ○NPO 法人古賀志山を守ろう会による、古賀志山緊急連絡時現在地番号が設置されている。				
参加者	A 班	小林安 L、本田 SL、外崎点呼、矢野朝記録、富井写真やまたん、高橋芳救急、飯塚、大平			
	B 班	蟹江 L 旗、郷田 S L 記録、小野点呼、新谷写真、齊田写真、小山救急、石塚やまたん、高橋英、林（会友）			
	C 班	田嶋 L、北田 SL、秋山点呼、大畠記録、一氏写真、吉川写真、藤家救急、福山やまたん			
	D 班	佐藤清 L 旗、村越 SL、森岡点呼、中村育写真、大賀救急、小林健やまたん、武内、飯合（会友）			
	東陵	細谷 L、千葉 SL 旗、土田記録、田村写真、矢野貞救急、白崎やまたん、小島洋			
	合計 40 名（男性 17 名・女性 23 名）うち会友 2 名				
メ モ	○前回(2020 年)は新型コロナウイルスの感染拡大によって中止したが、今回は感染予防を徹底して、実施することができた。忘年山行は 2018 年以来である。 ○3 コース 5 つの班が、古賀志山頂上で合流することができて、登頂を喜び合った。 ○天候にも恵まれて、“北関東屈指の名低山”の晩秋を楽しむことができた。 ○下山後、ニューサンピア栃木で入浴した後、広い会場で久しぶりの会友の方々も含めて、皆さんと会食を共にしながら懇親した。 ○初めての旅行社だったが、行程表通りで対応は良かった。				



師走ですが、紅葉がまだまだ楽しめる宇都宮市森林公園で、天候に恵まれた素晴らしい忘年山行となりました。

北コースにて古賀志山山頂を目指して、小川のせせらぎと森林浴を楽しみながら東稜見晴台で、美しい筑波山や日光連山の眺望を堪能して、頂上では参加者全員が揃い記念写真を撮ることができました。

下山後は、ニューサンピア栃木にて温泉に浸かり、疲れを癒してから懇親会へと流れる山行場所も含めての企画力には、脱帽いたしました。

新型コロナウイルスによって3年間開催できなかった思いやこの一年個人個人が思うような山行ができなかった悔しさを癒すことができ、来年は、きっとみんな

で登山を楽しめる良い年になるとの思いを語り合うことができました。

実行委員の皆様のお心遣いに感謝申し上げます。ありがとうございました。



急坂



12月4日(日)3年延期になっていた忘年山行が行われました。

天候も晴れ、大型バス2台で我孫子北口の公園前を出発。コロナの感染予防の為、1列の座席に1人というゆったり、贅沢な座り心地です。

東北道を通り宇都宮市森林公園駐車場に着きました。人気の山らしく駐車場にはすでに多くの車がありました。ここは宇都宮市森林公園自然休暇村としてハイキング道路等整備されている所で赤川ダムの正面から見える山が古賀志山です。

今回は北コース(A班、B班)南コース(C班、D班)、東陵コース、それぞれに分かれて登り、頂上で合流するという計画です。私は北コースのB班です。リーダーの

蟹江さんを先頭に、赤川ダムを左手に見ながら最初は舗装道路を進みます。赤川ダムは残念ながら水はなく、中で何かの工事が行われていました。進みながら葉を落とした木々のなかに名残のもみじの赤い紅葉がきれいです。途中より山道に入り、見事に植林された杉とヒノキの林の中進んで、段差も少なくとても歩きやすい道です。水場に着きました。パイプの先から勢いよく水が出ています。近くに3個のコップが吊り下げられていたので、飲んでみました。飲み心地いい美味しい水でした。道の脇には所々に冬イチゴの赤い実がきれいです。食べられないようです。木の根っこがむき出しの道になり、岩場の急坂を登り切った所が富士見峠でした。まきみちを通って、尾根道の歩きやすい道になり一登りして古賀志山頂上に着きました。南側の関東平野の展望がよく見えます。先に、東陵コースの人達が到着していました。ここで、各班ごとと、全員での記念写真を撮りました。それぞれ距離の違うコースの班が頂上で一緒になるとは、担当リーダーの方達が本当によく考えて下さった結果ですね



下山は、丸太の階段を下ります。中々長いです。膝の不安を抱えている私には我慢のしどころです。舗装道路の林道に着き当たりました。左に舗装道路をしばらく歩き、ヒノキ林の道を登り返し、落ち葉を踏みしめ、赤川ダムの方へと下りました。予定通りの時間で駐車場に戻り、バスで懇親会会場のニューサンピア栃木に向かいました。会場では、先にお風呂で汗を流し、会食です。本当に大勢でみんなで一緒に楽しい山行は久しぶりです。私も体力と気力を維持しもう少し皆様と楽しい山行を一緒にしたいと思いました。

担当の佐藤さん、蟹江さん、それにサポートして下さった皆様、細部までの心遣い、お疲れ様でした。
ありがとうございました。



南陵コースC班 初参加の忘年山行 展望良く技術的にも面白い山

福山 智



12月4日、4年ぶりに開催された忘年山行に参加した。自分にとっては岳人あびこに入会して初めての忘年山行であった。往路の羽生サービスエリア、その日を象徴するような暖かな朝日が昇り、山行中は、風もなく初冬の爽やかな気候に恵まれた。

我らC班が選択した南登頂コースは、適度な岩場・クサリ場の登りと、背後に宇都



宮市街、遠くに筑波山を眺望するルート。山頂では山名板の後方に、少しだけ雪化粧した日光連山を垣間見ることもでき、展望よく技術的にも面白い低山山行であった。

山頂では全班が一堂に会して恒例？の集合写真。「山を愉しむ」を実践する岳人あびこの面々が、お喋りと人数で他の登山者を圧倒する。一方、自分にとってはコロナ禍でいつもマスクし諸先輩方の拝顔の機を得た貴重な時となった。思えば、古賀志山は自分の今年の登り初めの山。令和4年は古賀志山に始まり古賀志山に終わる、個人的に思い出深い年となった。この紀行文を書き始めた山行翌日の今日、古賀志山の天候は夜から雪の予報となっている。あらためて、この山を選択し、絶好の日に企画・準備していただいた実行委員の方々に深く感謝するとともに、来る年も岳人あびこの皆さんが素晴らしい山々に出会えることを祈念して、ペンをおいた。



山登りをして、温泉に入って、食事をして、お土産をもらって、バスで寝て・・・。

もうこれ以上の山行旅行はないですね。

この様な至福の時間をいただいた幹事の皆様、長い間の綿密な計画作りから予行山行迄大変お疲れ様でした。参加者皆感謝しております。

皆様の日頃の行いの良さで、天気にも恵まれ気持ち良い山行ができました。

途中々で見る事ができた筑波山・日光男体山等々（山の名前が分からない）非常に爽快でした。

南コースですが、途中までは散歩程度の昇りが続き、皆余裕の様でした



山行頑張りましょう！

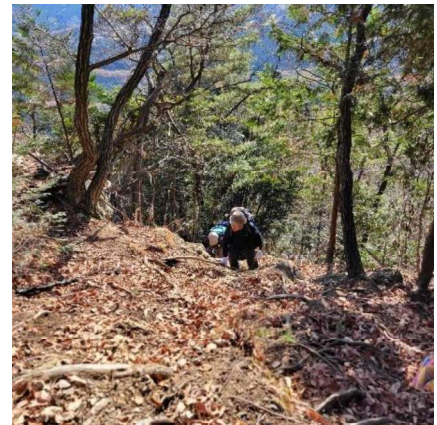


が、いきなり岩登りに変わり始めました。“一部クサリ・ロープがあり少々危険カ所有り”との事前情報は聞いていたのですが、クサリ場プラス岩登りの連続でした。

これ程両手を使っての山登りは初めての経験でしたので、程よい緊張とワクワク感でアッという間の登頂でした。

これも各ポイントにて、的確なアドバイスを提供して下さったリーダー殿のおかげですネ。安心して楽しく登っていきました。皆さん満足感と共に、もっと岩登りを続けたかったという感じですかね。

今回の山行も、誰一人ケガすることなく無事に楽しく過ごせたことに感謝します。これからも老体にムチ打って楽しい



2年ぶり？ いや3年ぶりのバス山行になるでしょうか。

忘年山行と言え、かるーく半日歩いて飲み食いして帰ってくるというイメージがありましたが、古賀志山の東陵コースはそこそこハードなコースで、アトラクションのような鎖場が楽しめました。

メンバーは、経験豊富な女性陣4名と、どちらかというとも含めて経験の浅い男性陣3名という構成。リーダーの細谷さんは気合十分で、現地に到着するしばらく前から、バスの中で靴を脱ぎ、地下足袋に履き替えています。

事前に、このコースはヘルメット着用のことと案内されていたので、鎖場が続くことでしょ程度にしか思っていなかったのですが、バスを降りて、再び細谷さんに目を向けると、ロープを携行し、ハーネスまで着用しています。

「あれっ、事前説明でロープは出しませんが」と言ってなかったっけ、と思ったほど。でも、林道を離れ、岩稜地帯に入ると、その装備も頷ける様相に変わっていきます。

ここの岩稜帯は、最初のうちはやさしい岩場が続くのですが、しばらくすると大きな岩が地表から突き

出していて、その大きな岩塊に鎖がかけられているのです。

ぼくは鎖をできるだけ使わないで登ろうと思っていたのですが、それができたのは最初のうちだけ。途中からはそんなことはできません。鎖に体重を預け、腕の力で上体を引っ張り上げていかないと登れないところも数か所あります。しかも、その際の足がかりがわずかに数センチの岩の窪みという場所も。

あとで地元の人に聞けば、「甘くみて遭難する方、滑落でヘリの世話になる方が結構おられます。地元新聞を賑わす山の1つです」とのこと。

高度感があまりないので、怖くはないのですが、慎重に歩を進めたぼくはメンバーの皆さんからは少し遅れ気味に。そして、カメラをザックにしまったために、登攀中の写真を撮ることはできませんでした。

(汗)

加えてその後、恥ずかしい失態を1つ。古賀志山の山頂で集合写真を撮った後、ザックの脇に置いたカメラを山頂に置き忘れてしまったのでした。幸い、山頂には他班の皆さんが残っていて、事なきをえました。

というわけで、お騒がせいたしました。藤家さん、わざわざお電話ありがとうございます。



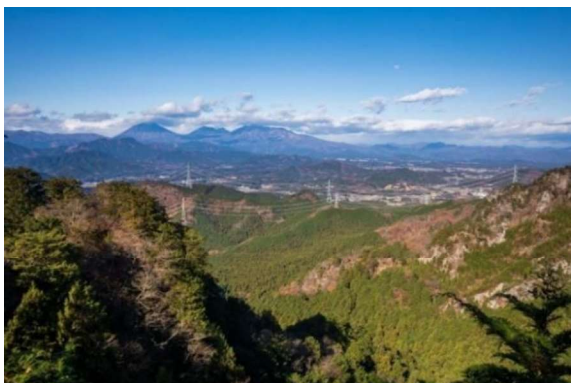
東南陵鎖場



会食(ニューサンピア栃木にて)



冬イチゴ



関東平野と日光連山



紅葉の並木道を抜けて駐車場へ

準定例山行報告		御岩山（530m）～高鈴山（623m）～助川山（327m）		リーダー:石塚 グレード:1A	
月 日	2022 年 12 月 10 日(土)		日帰り		
山 域	阿武隈山城	地形図	1/25000	町屋・日立	
目 的	ゆっくり紅葉を楽しむ				
費 用	約 3800（ときわ路パス利用）		交通機関	JR・タクシー	
行 程	我孫子発 5:43→6:58 水戸駅 7:03/7:33→日立駅 7:45 タクシー→御岩神社駐車場 8:10 ⇒御岩神社 8:30⇒御岩山 9:30⇒高鈴山 10:10/10:30⇒金山百観音 11:40⇒おむすび池 12:00/12:30⇒助川山 12:50/13:10⇒日立駅 14:30/15:47→我孫子駅 18:00 歩行時間 4 時間 行動時間 5 時間半				
ル ー ト 状 況	・ 登山道はよく整備されていて道標もたくさん出ている。 2 本ある分岐の標識もくこの先で合流＞等丁寧な表示が目立った。 ・ 御岩神社から御岩山への表参道の奥の院先の直登コースは今も閉鎖されている。 ・ 御岩山まで登れば後は多少のアップダウンがあるが主に下りで、落ち葉を踏みしめ歩きやすかった。				
参 加 者	石塚（L） 外崎(SL) 高橋（芳） 小島（洋） 蟹江 飯塚（会計） 吉川（写真） 大賀（記録） 会友：箕輪カオル 女性 9 名				
メ モ	・ 日立駅から路線バスもあるが土日は早い時間がない為（日立駅発 8：40）又日も短い時期なのでタクシーを利用した。（小型 3 台 ・ 日立駅に乗り入れしているタクシー会社の保有台数が少ないのか？予約の申し込みの時小型 3 台の予約を断られた事があった。（日立電鉄ハイヤーにて予約） ・ タクシー代が予約の時よりだいぶ高かった。 ・ 最高の天気恵まれ、高鈴山からの展望、助川山からの展望も素晴らしかった。 ・ 木々はほとんど葉を落としていたが金山百観音に向かうところに残っていた紅葉がきれいでした。又馬酔木のつぼみのトンネルが続き花の時期も来てみたいと思った。 ・ 日立駅続きのシーバーズカフェ（人気でなかなか入れなかった）で太平洋を眺めながらお茶することが出来た。				



御岩神社



名残りの紅葉



御岩山頂上直下



高鈴山



助川山

定例山行報告		明神ヶ岳～金時山		リーダー：土田	
		(1169m) (1212m)		グレード: 2A	
月 日	令和4年12月17日 日帰り				
山 域	箱根		地形図	1/25000 御殿場、関本	
目 的	明神ヶ岳から金時山越しの富士山を眺める				
日 容	約 5,000 円		交通機関	電車・バス	
行 程	我孫子駅 5:31→上野 6:04/17 上野東京ライン小田原行→小田原 7:47/8:10 箱根登山バス桃源台行→宮城野案内所前 8:44/8:55⇒明神ヶ岳登山口 9:08⇒鞍部 10:18⇒明神ヶ岳 11:08/11:33 昼食休憩⇒火打石山 12:30⇒矢倉沢峠 13:40⇒仙石原 14:00/22 箱根登山バス→小田原駅 15:10 解散 反省会 歩行時間4時間40分 行動時間5時間05分				
ル ー ト 状 況	小田原駅からのバスは時間通り宮城野案内所前に到着した。バス停から明神ヶ岳迄の登山道は整備されているが登りが続く。明神ヶ岳から火打石山までは霜が解けて道がぬかるんでいた。火打石山から矢倉沢峠手前までの間で金時山を見上げると、笹原に登山道がきれいな模様を描いている。				
参 加 者	(L) 土田義二 (SL) 佐藤清宏・高橋芳恵 (写真) 小林安代 (やまなみ) 小島徹 (旗) 吉川みよ子 (救急パック) 小山三恵 (記録) 佐藤健一 佐藤明子 男性4名 女性5名 計9名				
メ モ	連日の晴れ続きなのに、この日のみ雨マーク。金曜日の決行のお知らせと同時に、遠慮なくキャンセルも大丈夫と連絡したが、結果は全員の参加を頂き感動！ 山行きの数が極端に少なくなるこの時期、しかも日の入りも早い中、敢えてコースタイムで歩かないと金時山迄は難しい計画であった。明神ヶ岳到着時間で判断しようと考えていたが、全員頑張っていたが時間的には縦走可能な歩きでした。結果的には明神ヶ岳を出るところから小雪舞う状況となり矢倉沢峠からバス停に下山しました。仙石原バス停はバス便も多く、小田原までの 1 時間弱の直通もある。				





令和4年度 運営委員会(第10回) 議事録

令和4年12月20日(火)

1. 行事予定 (令和5年1月～令和5年3月)

(巻末に掲載)

2. 各部より

- 《会長》* 冬山に取り組む会員が出てきています。県連の冬山(雪上訓練)にも参加しています。
* 来年の会長候補も何名かに打診して決まりそうです。来年度に向けて計画を各部が立てています。
- 《副会長》* 今年はいろいろな事が当たり、山行で色々な花が見られた、天気予報が当たるようになった、山行で抽選が当たって品物がたくさん届いた等々。当たり年でした。(佐藤)
* 私は今年あまり山に行けなかった。今年の冬は雪が多いので、気を付けて下さい。
(新谷)
- 《総務部》* 総会に向けて各部、活動報告の準備をお願いします。
- 《会計部》* 今年(12月)中に請求の支払を出して下さい。
- 《装備部》* 来年度の予算でガスバーナーを購入してください。
- 《会報部》* 特になし
- 《県連》* 労山山岳事故基金について説明があった。(添付資料に詳細)
労山山岳事故基金の特徴、自分の交付金の試算を知る。1月の定例会にて説明がある。
* 添付配信された資料(12月運営委員会の報告、12月理事会議事録、12/15理事会案内、関東ブロック自然保護集会)の説明。

3. その他

1月定例集会所会	矢野裕子さん	やまたん原稿 締切り	1月号	12月25日(日) 中村育子さん
			2月号	1月25日(水) 小山さん

外崎、高橋芳、中村(八)、武内、大畠、千葉、桐生、矢野貞、中村育、郷田、本田、村越、大山、新谷、大平、北田、石塚、藤家、小林隆、深草、小林安、蟹江、佐藤、森岡、白崎、田嶋、土田、松下、一氏 (運営委員29名)

会員・会友各位

会友から会員へ、会員から会友への異動、退会に関する異動届は

書面での提出をお願いします。

参考に下記の如く異動届書を作成しましたので必要な方は活用して下さい。

異動届

岳人あびこ 会長 高橋芳恵 様

年 月 日

会友から会員への変更

申込者 _____

今般、下記事由により **会員への異動** を致したく、ご承認ください。

(事由)

※朱記,青記の部分は異動内容により変更して下さい。

- ・ 会員から会友への変更 会友への異動
- ・ 退会します 退会

1. 山行部より

来年度の希望山行がほぼ出そろって、矢野副部長がまとめてくれました。それによると、毎月切れ目なく計画がされており、中身を見ると北海道から九州まで幅広い地域にまたがっていて、かつ、今年は少なかった南北アルプスの3千m級の山が多く出ています。一方、日帰りで参加しやすい低山もたくさんでており、バランスのとれた多様な山行となっています。来年も体力、技術のレベルアップをはかりながら、多くの山行に参加してください。

北田（山行部長）

2. 山行計画（2023 年 1 月～）

（巻末に掲載）

3. 教育研修

【机上研修】

日 程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
1/10（火）	会員	定例集会	登山エクササイズ	小林安	
1/10（火）	新人	定例集会	テント生活の基本（テントの設営、撤収、ガスを使用して調理）	武内	
2/7（火）	会員	定例集会	一年を振り返って（グループ討議）	総務部	

【実技研修】

日 程	山名	対象者	研修内容	担当講師
2/5～6（日月）	北八ヶ岳	参加者	雪の八ヶ岳を歩く	村越
2/11（土）	乳頭山～仙山	新人	新人による山行計画の実施	大平/鈴木

4. 山行報告

山名	参加者数		山行NO 1234～	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
立山	2		1234	白崎	白崎	無	周回を断念、雄山、浄土山のピストン
高川山	←						雨の為中止
笹尾根	13		1235	本田	矢野裕 小山	無	

古賀志山	38	2	1236	やまたん から転用	各班多数 より		忘年山行 やまたん担当（富井、石塚、 福山智、小林健、白崎）
御岩山～高鈴山 ～助川山	8	1	1237	箕輪力	吉川	無	
明神ヶ岳	9		1238	小島徹	小林安	無	天候が悪く金時山は断念

5. 忘年山行について

・議事録の修正

11月の山行部会議事録は、以下の文言に追加修正しました。

【修正後】

「忘年山行について、担当リーダーより「新型コロナウイルスの感染が広がっているが、感染予防を徹底して忘年山行を実施したい」との発言が有り、その補足として「山行計画書に感染予防の徹底について記載する」としてその内容が紹介された。検討の結果、これを全会一致で了承」

・会計報告について

当初 47 名申込有、実参加者 40 名、7 名のキャンセルが有りその返金等の後処理中、1 月の集会時返金を終了した後、会計報告をする予定。飲み物代の不足は 4 名の方のクーポンの寄付で賄うことが出来た。寄付された方に感謝）

6. 新リーダーの選出について

- ・リーダー辞退 会長より現リーダー2名（桐生、中村育）から体調不良で辞退の申し出があることが報告され、了承された。
- ・新規リーダー候補 6 名の推薦があった。6 名について山行部長より打診する。

7. 来期の山行希望調査結果について

- ・12月20日時点で61座の希望があった。重複、リーダー、グレード等の整理をし、次回の山行部会で固めていく予定。

（山行部会）

外崎 武内 高橋芳 大畠 矢野貞 中村育 郷田 本田 村越 新谷 矢野裕 室崎 大平 北田 石塚 藤家 小島
洋 小林隆 深草 小林安 佐藤清 蟹江 森岡 白崎 田嶋 小島徹 秋山 矢野朝 土田 千葉 一氏 細谷
欠/北川 桐生 矢野裕 小山 小野 松下

お知らせ!! 「労山山岳事故対策基金」継続 申し込みのご案内

2023 年（令和 5 年度）の継続申し込みを受け付けます。

下記の申し込み欄に記入の上 **2 月定例会(2 月 7 日)までに提出**ください

これは現会員の継続確認も兼ねています。3 月以降退会希望者はその旨申し出てください。

申込金は 2023 年度の総会にて集金します

労山山岳事故対策基金の特徴

- ① 所属の会の安全管理、安全教育の努力に対する一律補償
 - 1, 山行の難易度等による差はつけない
 - 2, 個人山行にも対応(会に山行計画書を提出してあること)
- ② 海外登山に対応(別途、条件あり)
- ③ 寄付金は年額 1 口 1,000 円。当会は 2 口以上
- ④ 登録口数の上限はないが、交付は 500 倍が上限
- ⑤ 2000 メートル以下のハイキングでは 3 倍交付される(上限 10 倍)
- ⑥ ココヘリに入会していると、救助、捜索費用は 1,000 倍

1 月の定例会に、
このページを印刷し、
記入用ペンとともに
お持ちください。

自分の交付金を知ろう (試算)

入会 年目 寄付金 口 入院 日 通院 日 の場合

(1) 救助、捜索(実費または、限度内で補填)

$1,000 \text{ 円} \times \text{加入口数} \times (400 \text{ 倍} + \alpha)$

α とは 入会 1 年目 — 0 → 10 年目 — 90

11 年目以降 — 100

(2) 入院 1 日 800 円 2 日以上 1 日目～210 日目まで

(3) 通院 1 日 400 円 1 日目～50 日目まで

(4) 死亡見舞金 1000 円×加入口数×200 倍

捜索費用 $1,000 \text{ 円} \times \text{口} \times (400 + \text{)} = \text{円}$

入院 $800 \text{ 円} \times \text{口} \times \text{日} = \text{円}$

通院 $400 \text{ 円} \times \text{口} \times \text{日} = \text{円}$

死亡見舞金 $1,000 \text{ 円} \times \text{口} \times 200 \text{ 倍} = \text{円}$

----- 継続申込み用紙 切り取り -----

2023 年 月 日

お名前 _____ 口数 _____ 口 _____ 円



山の神が見せてくれた、満天の星 雷鳥 オコジョ…

福山幸代さん (2022 年入会)

7 年ほど前「ペルセウス座流星群を見に行こう！」というツアーで乗鞍岳に行ったのが私が山を始めるきっかけです。

何も知らない私は、初めての山小屋泊に「パジャマは持っていったほうがいいですか？」と今では恥ずかしい質問をするほどでした。

でもそんな無知な私に、山の神様は誘うように素晴らしいものを惜しげもなく見せてくれました。素晴らしい天気の中、満天の星々はもちろん、雷鳥に、オコジョ、アサギマダラ…。

初めての登山は大変でしたが、やり遂げた後の達成感は今までの旅行では味わったことのないものでした。

それから相部屋で初めて会う方からの楽しい山行トーク！「裏銀座はいいわよ～！是非行ってらっしゃい！」の一言は未知への世界へ踏み出すきっかけになりました。

道具を揃えるところから始まり、仲間がどんどん増えて「次どこに行こう！？」とお誘いを受けたり誘ったり！この仲間がいなければこんなに山を続けていなかったかもしれません。

そうやって切磋琢磨して剣岳を制したあと、山をやらない友人に「いったいどこを目指しているの？」ときかれました。その頃、妙義山やら戸隠山やら八海

山やら大変な山行が続いていた私は、山の怖さも知りはじめていました。もちろんそれらを成し遂げた事はいいい思い出ですが、自分の実力以上で連れて行ってもらった感があるのです。

私はついつい人に依存したくなる性格なのですが、このまま甘えた状況では大きな怪我につながるな！と感じました。

山はどんなに励ましがあっても、最後は自分の足でたどり着かなければいけない己との闘いだと思います。だからこそ達成感も感動も味わえる。これからはこの性格を直しつつ、努力を重ね、技術を勉強しなければいけないと思っています。

でも最終的に私の目指す山行はやっぱり「みんなで一緒にわいわい登れる山」なのかな！



裏妙義山にて

雪山 早朝の空 とめどなく流れた涙

中村 弘さん (2022 年入会)

初めに、11月例会にて会員としてご承認いただいたことを嬉しく思っています。また、忘年山行へは体調を崩し参加できなかったこと・・・申し訳なく思います。これに懲りずに今後とも宜しくお願い致します。

東京で育った私には縁遠かった山・・・高校時代に仲間に誘われて八ヶ岳へ登ったことが記憶に残っている。(それまでは、近郊の低山の往復をしていた。) 2000mを超える山々の雄姿に圧倒され、また、その時に見たオレンジ色の空と青空とのコントラスト・・・自然の美しさにただ呆然と立ち尽くすだけだった。その後、八ヶ岳をはじめ南アルプス、富士山、北アルプス等と登頂回数を重ねてきた。(今振り返ると、食料を積み込んだキスリングのバッグや重いテントを担いでよく登っていたと我ながら驚くしだいである。)

環境が変わり子育て時には、子ども達とカヌーでツーリングをしたり、日本中をドライブしながら回ったりしていた。

40歳過ぎた頃、先輩から「1月だけど・・・八ヶ岳へ行かないか？」と声をかけられた。

「苦しい山行ならやめます」と言うのと「小屋に泊まるから・・・。」とのこと。それが山行の再出発であった。「稲子湯⇒しらびそ小屋⇒中山峠⇒天狗岳⇒黒百合ヒュッテ」コースを見て過去に何度か通ったルートなので「大丈夫だろう」と過信してしまった。雪の踏み跡を丁寧に踏んで歩いていたが、斜面になると踏んだはずの踏み跡が私の体重に圧されて、膝あたりまで潜ってしまった。必死になって穴から足を引き上げ、また歩を進める。何十回か繰り返すうちに今まで経験したことの無い疲労感が身体中を駆け巡った。(苦しかった！)

小屋にやっとの体でたどり着き、食事もままならずに、寝てしまった。翌朝、白みはじめた空から青空、刻々と変化するオレンジ色のコントラスト・・・そして、陽の昇る瞬間を目にした時、なぜか涙が止めどなく流れ出していた。この感動！忘れかけていた自然への崇高な思い、自然へのアプローチに火がつき今日まで続くことになる。「七転び八起き」は山行で学んだ言葉である。

「岳人あびこ」の山行では、伊豆大島の三原山、北八ヶ岳へと楽しく参加させていただきました。また、気持ちのよい方々で、何よりも足の強さに驚かされました。私も皆さんのペースについて行けるよう足を鍛えねばと思うしだいです。



乗鞍岳山頂にて

1. 行事予定（令和5年1月～令和5年3月）

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	1月	10（火）	定例会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		17（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	2月	7（火）	定例会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		19（日）	入会説明会 拡大運営委員会、山行部会	市民プラザ	10:00～12:00 13:30～16:30
	3月	5（日）	総会 定例会	湖北近隣センター ホール	13:30～15:30 15:40～
		22（水）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
県連	1月	19（木）	理事会		19:00～

※我孫子北近隣センター並木本館での集会には「スリッパ」を持参して下さい。

2. 山行計画（2023年1月～）

日 程	分	山 名	山 域	L（企画者）	G	備考（目的）
1/8（日）	定	手賀沼クリーンハイク	我孫子・柏	小野	1A	労山クリーンハイク活動【募集済み】
1/14（土）	定	伊予ヶ岳・富山	房総	小島徹	1B	ミニ鋭鋒と「八犬伝」ゆかりの名山【募集済み】
1/22（日）	準定	三浦海岸から城ヶ島へ	三浦半島	高橋芳	1A	関東大震災で隆起した海岸を訪ね、水仙の香りを楽しむ【募集済み】
1/28（土）	定	陽だまり山行	房総	小島洋	1A	県連ハイキング
2/5-6（日月）	定	北八ヶ岳	八ヶ岳	村越	2C	雪の北八ヶ岳【募集済み】
2/11（土）	定	乳頭山～仙元山	三浦半島	鈴木 / 大平	1A	令和4年度新人卒業山行 テント設営と自炊研修
2/11-12（土日）	準定	四阿山	上信越	細谷	2C	雪山に泊まる
2/18（土）	定	宝登山	秩父	本田（飯塚）	1A	蠟梅を見る
3/11-12（土日）	定（仮）	三岩岳	南会津	白崎	2C	雪洞（スノーマウント若しくはイグルー）泊の実践